

採用年度	平成 年度
資格	SPD PD RPD DC2 DC1
領域	
受付番号	

平成 年 月 日

特別研究員海外渡航届

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

フリガナ

登録名

印

国内受入研究機関

下記のとおり、海外渡航を届け出ます。なお、渡航中の災害には、私の責任において対処いたします。

記

1. 海外渡航目的： 研究遂行 研究指導委託(DCのみ) 国際連携専攻履修(DCのみ)

※研究遂行の場合は目的： _____

2. 渡航先国名：

研究機関等の名称：

(機関がない場合は都市名等の詳細)

3. 渡航期間： 年 月 日 ~ 年 月 日 (日間)

4. 渡航経費(該当するものを○で囲み、「その他」を選択した場合は内容を具体的に記入してください)：

①自己負担(研究奨励金含む) ②特別研究員奨励費

③その他 → [負担する機関名等： _____
助成内容：【航空運賃・宿泊費・日当・その他()】]

5. 海外での連絡先(E-mail)： _____

上記のとおり貴会特別研究員の海外渡航について承諾いたします。

受入研究者

所属機関・部局・職・氏名 _____ 印

上記のとおり願い出がありましたのでよろしくお取り計らい願います。

平成 年 月 日

研究機関長・職・氏名 _____ 職印

- (注) ① 海外渡航目的欄は、「研究指導委託」「国際連携専攻履修」の場合はチェックのみを、「研究遂行」の場合はチェックの上、目的を具体的に(例：渡航先には実験装置が整っているため)記入してください。
 ② DCで渡航目的が研究指導委託の場合は「研究指導委託承認証明書<様式7別添-1>」を、「国際連携専攻履修」の場合は「国際連携専攻履修証明書<様式7別添-2>」を、それ以外の場合は「特別研究員海外渡航計画書<様式7別添-3>」を添付してください。
 ③ 特別研究員本人の登録名欄は、自署の場合は押印を省略できますが、ワープロ等で記入した場合は必ず押印してください。
 ④ 「受入研究者」欄および「研究機関長」欄は渡航先ではなく、特別研究員としての国内受入研究機関です。研究機関長は、大学の場合は原則として学長です。
 ⑤ 渡航期間開始日には出国日を、渡航期間終了日には帰国日を記載してください。